



2018年6月30日(土) 八島湿原&霧ヶ峰

Report by kumamoto

梅雨明け宣言された翌日の6月30日(土) 八島湿原と霧ヶ峰の花旅ハイクに、大瀧さん、安部さん、根岸さん、池戸さん、吉松さん、高橋雄さん、熊本の7名で行ってきた。

コースは八島湿原バス停から湿原に入り湿原を半周して鎌ヶ池から物見岩、蝶々深山を経て車山湿原に下り、車山乗越から車山山頂(1925m)を極め、車山肩に下り、バスで上諏訪駅に行き、日帰り温泉「片倉館」で入浴休憩して帰路に着く。上記コースを下図のMAPに示した。



新宿発7:00のスーパーあすさ1号に乗るべく6:20に到着したが、今まで10番ホームであったが9番ホームに変わっていた。既に大瀧さんは並んでおり、出発40分前にも関わらず長蛇の列だった。導入されたばかりの新車両で、真新しかった。新宿出発時には立ち席も満員になっていた。



茅野駅 9:12 到着、電車が遅れたため、バスチケットを慌ただしく購入し上諏訪行のバスに乗りこむ。



10:43 6分遅れで八島湿原に到着。



準備を整えて、集合写真を撮り、車道下のトンネルを抜けて湿原に入る。 10:50



湿原に入ると、レンゲツツジやニッコウキスゲが出迎えてくれた。



湿原入口の標識の前で記念写真を撮り、湿原を周遊する木道に降りる。10:53



八島湿原

八島湿原を反時計回りに半周する。湿原と車山で見た高山植物は・・・



アカツメクサ



ニシキウツギ



イブキトラノオ





アヤメ



タテガタチドリ



キバナノヤマオダマキ



アカギキンポウゲ



ハクサンフウロ



オオカサモチ



ニシキウツギ



ハクサンフウロ



コバイケイソウ



グンナイフロ



グンナイフロ



ヨツバヒヨドリ



オオヤマフスマ



オトギリソウ



マツボックリ



イブキボウフウ



タチカメバソウ



キンバイソウ



タカトウダイ



レンゲツツジ



キンバイソウ



シロバナハナニガナ



イブキトラノオ



マルバスミレ



ワタスゲ



グンナイフロ



バイカウツギギ



マルバスミレ



ユウガギク



アマドコロ



ニッコウキスゲ



八島湿原を左回りに高山植物を見ながら進む



高山植物の撮影に余念がない



11:20 八島湿原の端にある鎌ヶ池キャンプ場に着いた。



鹿よけのゲートを潜り、山道の登山道に入る。



平坦な湿原歩きから、傾斜のある山歩きになったが、風があるためユックリ登れば汗はかかない。
冬山でも大汗をかく、あの池戸さんが汗をかいてない。 不思議！！



12:00 物見岩に到着。ここまでオンタイムできた。ここで昼食にする。



好きなところに座り、食事スタート。
風があり涼しく、念のため温度計を見たら 20 度を切っていた。
都心の猛暑とは雲泥の差であった。



昼食後、物見岩をバックに記念の一枚を撮り、次の蝶々深山へ向かう（12:25）



蝶々深山までは、なだらかな草原歩きだ。

前方の蝶々深山の更に先に車山山頂の気象観測用のレーダードームが見えてきた。



登山道の両側にはレンゲツツジやコバイケイソウの群生があり草原の緑に映える。



12:50 蝶々深山（1836m）に到着。



車山山頂のレーダードームは目の前に迫ってきた。一旦、車山湿原に下る。ガレ場で歩き難い。



車山湿原にはピークは過ぎているが、レンゲツツジがまだ多数咲いていた。



13:15 車山湿原の端「車山乗越」に到着した。これから車山山頂を目指し最後の登りに取り付く。



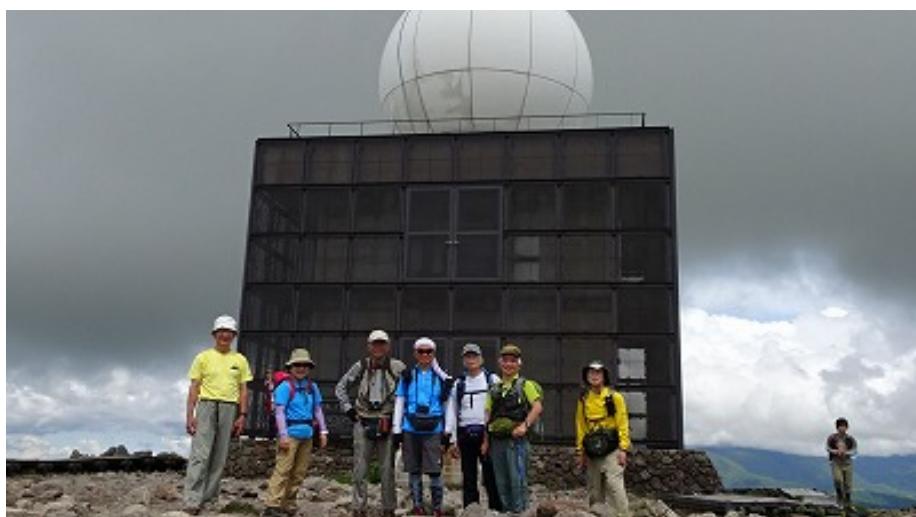
道幅が広いので平坦な登りに見えるが、これが結構、急な登りで最後に大汗をかかされた。



13:36 山頂の車山神社に到着。

諏訪大社の御柱祭は有名だが、諏訪地方六市町村の神社でも、

同じ年に御柱祭（小宮祭）が行われ、この車山神社でも斎行され、1800mから山頂の1925mまで御柱を、急な斜面や岩を乗り越え曳き上げられた。日本の名峰を一望する山頂に運ばれた四本の御柱は私たちを見守っている。



13:50 車山山頂（1925m）で記念写真を撮る。



山頂からガレ場を車山肩へ下る。雲雀が岩の上で鳴いていた。



上空には真夏の雲が広がり、14:30 車山肩バス停に到着した。

15:03 13分遅れのバスに乗り、上諏訪駅に向かう。



上諏訪駅から徒歩 10 分弱にある
日帰り温泉「片倉館」(千人風呂)
で入浴休憩する。



汗を洗い流した後、
二階の大広間で、乾杯！



入浴休憩後、
片倉館の前で記念の一枚。



上諏訪 17:44 のあずさ 30 号に乗り、帰路に着きました。

梅雨明け宣言の翌日で天候も安定して、
多数の高山植物と 2000m 高原の涼を満喫した山旅でした。